

市の財政見通しをお知らせします

問い合わせ先 財政課☎32-2020

市では、今後見込まれる厳しい財政状況の中で適正に財政を運営するために平成24～27年度の4年間の計画期間とする財政計画を作成しました。

計画期間の4年間で12億6,700万円の収支不足が想定され、この収支不足をどのように解消していくかが課題となっています。市民サービスへの影響を少なくするよう、収支不足の解消に向けてさまざまな取り組みを進めていく予定です。

市民の皆さんのご理解とご協力をお願いします。

収入面の課題

- 景気の低迷により伸び悩む市税収入
- 市町村合併の特例期間の終了に伴う地方交付税収入の減額 など

支出面の課題

- 小中学校施設の耐震化事業（～平成26年度）
- 新クリーンセンターの建設事業（平成27年12月稼働）
- 土地開発公社の整理・清算（平成24年度） など

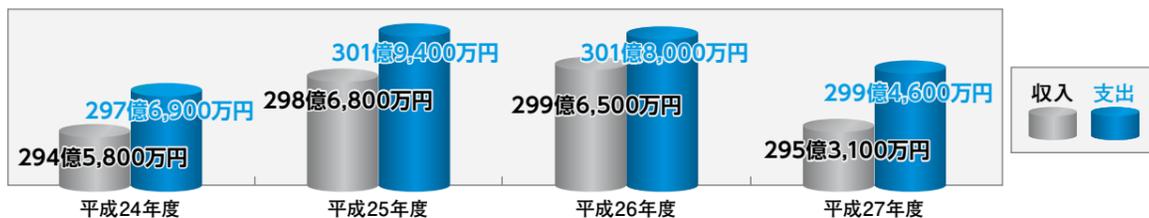
4年間で
12億6,700万円の
収支不足

収支不足の解消に向けて

- 津山産業・流通センターへの企業誘致、遊休地の売却などにより自主財源を確保します
- 更なる行財政改革に取り組むとともに、事業の選択と集中を行います



収支見通しシミュレーション（普通会計・一般財源ベース※）



※普通会計 一般会計と特別会計のうち公営事業会計以外の会計を統合したもの

※一般財源 市が自由に使うことができる収入のこと

※詳しくは、市ホームページをご覧ください

用語の説明

一般会計 福祉や教育、道路整備やごみ処理など、基本的な市の事業を行う会計

特別会計 特定の事業を行うために特定の収入をその支出に充てるため、経理を独立して設ける会計

財産区会計 所有する山林などの管理や処分を目的とした特別な地方公共団体の会計

水道事業会計 水道事業から得られる収入で浄水や給水などの費用を賄う独立採算制の企業会計

工業用水道事業会計 久米産業団地に立地する工場への給水事業の企業会計

その他の会計

特別会計	予算額
国民健康保険	108億2,712万円
介護保険	86億9,882万円
下水道事業	53億9,766万円
後期高齢者医療	11億8,984万円
農業集落排水事業	2億2,668万円
簡易水道事業	2億2,262万円
食肉処理センター	1億 596万円
公共用地取得事業	1,233万円
奨学金	912万円
磯野計記念奨学金	653万円
土地取得造成事業	523万円
財産区会計	1,167万円
水道事業会計	44億6,567万円
工業用水道事業会計	3,364万円

平成24年度の主な事業（施策）

区分	事業	事業費
子育て支援と健康福祉の充実	ときわ園整備事業	5億 692万円
	子ども医療費公費負担事業	3億8,734万円
	不妊・不育治療支援事業	750万円
人づくりと文化の振興	小中学校耐震化事業	4億5,725万円
	津山東公民館整備事業	8,284万円
産業振興と雇用の創出	美作国建国1300年記念事業	1,316万円
	搬出間伐促進事業	300万円
美しい自然と快適空間の形成	太陽光発電システム設置費補助事業	1,200万円
	一般家庭用浄水設備等設置費補助事業	500万円
安全なくらしと都市基盤の整備	緊急地方道路整備事業	5億 941万円
	防災基盤整備事業	2,350万円
まちづくりの推進方策	協働推進事業	1,272万円